

# 令和03年12月（第4回）岩倉市議会定例会

## 一般質問通告要旨

### 1 宮川 隆 議員

- 1 「岩倉市路上喫煙の規制に関する条例」の実効性を担保するための方策はあるのか
  - (1) 最大限の効力を発揮するための方策は考えられているのか。
  - (2) 条例第3条（市の責務）では「広報、啓発その他必要な施策を総合的に実施」とあるが、具体的にはどのような取組がなされるのか。
  - (3) 市外の方々に禁煙区域を知らしめるための対応はどうか。
  - (4) 継続的な取組を期待するが考えをお聞きしたい。
  - (5) 今回、喫煙場所を設けたが、副流煙対策は取られているのか。
- 2 災害時における避難所等の電源確保は行われるのか
  - (1) 岩倉市において災害発生時の電源確保の現状はどのような想定がなされ、計画されているのか。
  - (2) 市内における電動車の所有者把握と実態はどうか。
  - (3) 災害発生時の初期段階での電源確保は大切であると考えているがどうか。

### 2 梅村 均 議員

- 1 上水道料金は適正か
  - (1) 本市の水道料金はなぜ比較的安価なのか。また、周辺自治体との比較をどう分析しているか。
  - (2) 今後の見通しをどう考えているか。（安価な水道料金を維持する方策はあるか。）
- 2 希望の家の価値は高まっているか
  - (1) 最近の施設の利用状況はどうか。
  - (2) 「2023年度の指定管理者との契約終了までに、民間等への譲渡検討」の方針が出されているが、どのような検討がなされてきて、現状はどうか。
  - (3) 「青少年宿泊研修施設」とあるが、「青少年」の制約を解除することはできないか。
  - (4) 家庭や親子などがキャンプ体験（研修）できることを周知し、一般利用者の増加を狙ってみてはどうか。（広場をキャンプ場にしてはどうか。）
- 3 家庭教育支援条例の制定に向けて
  - (1) ホームページ上の家庭教育のメニューでは、「いわくら子育て親育ち十七条」の冊子が紹介されているのみだが、家庭教育全般に対する現在の取組状況はどうか。

- (2) 家庭教育支援条例を制定し、家庭教育の分野を一元的に管理し、家庭教育の大切さを強く意識した取組ができないか。また、家庭教育支援チーム設置の検討ができないか。

### **3 鬼頭 博和 議員**

- 1 フレイルの予防について
  - (1) フレイルに対する周知、啓発はどのようなか。
  - (2) フレイル予防に向けて本市の取組はどのようなか。
  - (3) フレイルの早期発見、支援についての取組はどのようなか。
  - (4) 健康寿命の延伸を図るためにもフレイル予防のさらなる取組を。
- 2 小中学校でのICT機器の利用状況について
  - (1) 教職員のICT機器の活用状況はどのようなか。
  - (2) 授業におけるICT機器の利用状況はどのようなか。
  - (3) ICT支援員は具体的にどのような業務を行っているのか。
  - (4) 特別支援学級におけるICT機器の利用状況はどのようなか。
  - (5) 特別支援学級でマルチメディアデジター教科書を使用するべきではないか。

### **4 黒川 武 議員**

- 1 市制50周年記念事業として「桜並木の保全」をみんなで考えよう
  - (1) 岩倉市民の花木「さくら」について問う。
  - (2) さくらシンポジウムの開催について問う。
- 2 学校における働き方改革について
  - (1) 教員の働き方改革は進んでいるのか。
  - (2) 長時間労働の是正に向けた在校等時間管理の適正化について問う。
  - (3) 業務改善に向けた学校マネジメントの推進について問う。
  - (4) 部活動指導に関わる負担の軽減について問う。
  - (5) 業務改善と環境整備に向けた取組について問う。

### **5 榎谷 規子 議員**

- 1 都市計画道路江南岩倉線の北への延伸は必要か
  - (1) 市民説明会をどう評価するか。
  - (2) 見直しについては考えないのか。

- (3) 総事業費は、全て県が負担するのか。お墓の移転に伴う手続など、市の負担をどう見ているのか。
- 2 北部保育園の移転～統合保育園整備についても市民の声をよく聞いて
  - (1) 父母・保育士・市民の意見をどのように把握し、活かしていくのか。
  - (2) 市民会議のメンバーはどのような構成を考えているのか。
  - (3) 存続までの4年間、園舎の屋根等の整備を。
- 3 市民の足のタクシー 市民負担を減らし利用しやすい改善を
  - (1) すこやかタクシー
    - ① 利用状況は。
    - ② 利用券の見直しを。
    - ③ 年齢の引き下げを。
  - (2) ふれ愛タクシー
    - ① 土曜日の利用はまだできないのか。
    - ② 乗降禁止エリアはまだ取れないのか。
    - ③ 時間延長の検討はどうか。
- 4 気候危機打開を
  - (1) 2050年カーボンゼロ宣言を。
  - (2) 2030年までにCO2をどれだけ減らすのかの計画策定を。
  - (3) 2030年までの削減目標を2013年比で50%以上にすること。そのために再生可能エネルギーの積極的な導入目標を。
  - (4) 住宅の低炭素化促進に向けて補助制度の拡大を。

## 6 谷平 敬子 議員

- 1 岩倉市の地球温暖化対策について
  - (1) 公共施設・学校の再生可能エネルギーの割合は、どのくらいか。さらなる再生可能エネルギーの利用促進を求む。
  - (2) 本市の地球温暖化対策推進に向けた住宅用補助金制度の利用促進を求む。
  - (3) 地球温暖化に対する地域・市民への啓発活動が、重要と思うが、今後の取組はどのようなか。
  - (4) 「地球温暖化対策室」を設置してはどうか。
- 2 ハートフルパーキングの導入について
  - (1) 本市の介護ヘルパーなどの訪問サービスを利用している高齢者や障がい者の数はどのようなか。
  - (2) ハートフルパーキングとはどのような駐車場なのか。
  - (3) ハートフルパーキングの導入を求む。

### 3 「思いやり駐車スペース」の新設について

- (1) 図書館に「思いやり駐車スペース」が、設けられているが、市民の皆さんの意見はどうか。
- (2) 市役所駐車場及びその他公共施設にも、設置できないか。

## 7 木村 冬樹 議員

### 1 第2次実施計画で今後の事業をどのように進めようとしているのか

- (1) なぜ、障がい者基幹相談事業を民間委託で進めるのか。
- (2) なぜ、スマートインターチェンジ整備検討事業を単年度事業にしたのか。また、整備の際に県・他市から財源負担が得られるのか。
- (3) 浸水ハザードマップ見直し事業は市民参加で行うべきではないか。
- (4) 学校給食用配送車購入事業において、どのように車両を更新していくのか。
- (5) 地域交流センター施設改良事業におけるポプラの家屋根等修繕をどうして自前でやるのか。

### 2 コロナ禍における社会保障制度の在り方を考える

- (1) 生活自立支援相談室をはじめ庁内の各種相談室の感染防止対策は十分か。また、相談には十分に対応できているのか。
- (2) コロナ陽性者が医療機関を受診する際の移動手段は確保できているのか。
- (3) 10月20日から運用が始まったマイナンバーカードの健康保険証としての利用の実態はどうか。

### 3 今回の総選挙を検証する

- (1) 投票率向上の取組はどうだったのか。
- (2) 投票所別の投票率の差をどのように分析しているのか。
- (3) 期日前投票所の拡充や投票所区域の見直しを行うべきではないか。
- (4) 投票受付事務の民間委託をどう評価しているのか。

### 4 ジェンダー平等社会の実現に向けて

- (1) ジェンダー平等の取組はどこまで進んでいるのか。
- (2) 条例制定についての考えは。
- (3) 自治体の女性管理職割合の目標達成に向けての進捗状況は。
- (4) コロナ禍が与えた女性への影響をどう見ているのか。また、それへの対応をどう考えるのか。

## 8 関戸 郁文 議員

- 1 本年9月に発足したデジタル庁の業務概要が明らかになったが岩倉市の対応について問う
  - (1) デジタル庁が求める自治体のデジタル化はどのようなものか。
  - (2) 岩倉市ではどのように対応していくのか。
  - (3) デジタル化に伴い業務改革はどのように進むのか。
- 2 農業従事者に対する助成について問う
  - (1) 農業従事者に対する助成はどのようなか。
  - (2) 米価下落に対する対策はあるのか。
- 3 開票立会人の報酬と投票所見直しについて問う
  - (1) 開票立会人の集合時間、報酬等近隣市町と比較してどうか。
  - (2) 開票立会人の報酬改定が必要と思うがどうか。
  - (3) 近隣市町と比較して投票所の設置状況は良好か。
  - (4) 現状の投票所の見直しについて問う。

## 9 水野 忠三 議員

- 1 国道155号と五条川が交差する地点(明治橋付近)について問う
  - (1) 近くに歩道橋があるが、現在までの利用状況についての認識は。
  - (2) 交通事故防止のため、従来どのような対策が取られてきたか。また、行政区など、地元からの要望に対してはどうか。
  - (3) 旧給食センター跡地に夢さくら公園ができ、歩行者などが増加することが考えられるが、新たな対策等は必要か。
  - (4) 将来的に、国道155号の下に五条川沿いの歩道を通す「アンダーパス」化は検討できないか。また、他の立体交差の方法はどうか。
  - (5) 河川に関する国や県の今後の計画策定等への動向はどうか。
- 2 椅子の代わりにバランスボールを導入することについて見解を問う
  - (1) 本市で、腰痛や肩こりなどに悩む職員についての現状は。
  - (2) 椅子の代わりにバランスボールを使用することで、腰痛や肩こりの予防・改善に効果があるとされることがあるが、業務効率向上の観点から見解は。
  - (3) 和歌山県田辺市や北海道釧路町などのバランスボール等の使用事例について見解は。
  - (4) 本市の庁舎内でも、デスクワークが多い職員等を中心に導入できないか。また、市内事業者に対して購入費補助等は検討できるか。
- 3 市独自の電子商品券事業について問う
  - (1) 名古屋市の電子商品券でポイント還元する事業について見解は。
  - (2) 愛知県豊橋市のプレミアム付電子商品券「とよっペイ」事業について見解は。

- (3) 本市においても独自の電子商品券事業を実施できないか。
- (4) 将来的には、電子商品券事業だけでなく、本市での電子地域通貨事業も検討できないか。

#### 4 本市の財政について改めて問う

- (1) 本市の財政状況に関して現状認識は。
- (2) 「繰越金」についての見解は。
- (3) (令和元年度決算を例に)基金取り崩しの要否や臨時財政対策債の借入の要否の判断基準は。
- (4) 法定の基金積み立てや起債償還の状況及び見解は。
- (5) 「実際の公金の動き」についてはどのように把握されているか。また、財政(予算)部門と会計(決算)部門の情報共有・連携はどのようになっているか。
- (6) 将来に向けて、今後の財政運営の方針を改めて問う。

### 10 片岡 健一郎 議員

#### 1 ICTを活用した行政サービスの利便性向上と効率化について

- (1) 登録者数が増加している岩倉市公式LINEアカウントの今後の有効活用についてどのように考えているか。
- (2) 岩倉市公式LINEを市民と行政が相互に情報を届けあうツールとして活用できないか。
- (3) 水道スマートメーターは人件費削減、今後予測される人手不足解消、漏水の早期発見、高齢者の見守りという観点からも推進していく課題と考えるが当局の見解を問う。
- (4) 国の「水道事業におけるIoT活用推進モデル事業」の補助金を活用し水道スマートメーターの実証実験を始めてはどうか。

#### 2 市民自治の充実に向けて

- (1) 選挙の投票率の低下の要因を当局はどのように分析しているか。
- (2) 投票率向上に向けた市の取組及びその予算の内訳はどのようか。
- (3) それらの取組の効果をどう捉え改善につなげているか。
- (4) 市民自治の充実という観点から新城市のように条例を制定し公営討論会を実施してはどうか。
- (5) 公営討論会という試みについて市長の見解を問う。

#### 3 岩倉市における地籍調査について

- (1) 岩倉市における地籍調査の進捗状況はどうか。
- (2) 愛知県内の市町村の進捗率を見るとかなりのばらつきが見られるが原因はなぜか。
- (3) 国、愛知県としては地籍調査を推進しているが当市の考えはどうか。

- (4) 公共事業の円滑化を図るためにもまずは公共事業の計画対象地域の地籍調査を進めるべきだと考えるが市長の見解を問う。

## 11 井上 真砂美 議員

### 1 学校の生徒指導体制について

- (1) 校内指導はどのような指導が行われるのか。
- (2) 相談活動はどのように行われるのか。
- (3) 校外指導はどのような指導が行われるのか。
- (4) 問題行動対策委員会ではどのような問題行動が話し合われるのか。
- (5) 日々の問題行動について、教員間の共有はどのように行われるのか。
- (6) 「命を大切にする」や「多様性を認め合う」の指導はどのように行われるのか。
- (7) 地域や家庭との連絡や共有はどのように行われるのか。

### 2 認知症の予防に「回想法」を利用してはいかがか

- (1) コロナ禍での老人会の活動はいかがだったか。
- (2) 老人会で「郷土資料室」へ見学を行ってはいかがか。

### 3 「夢さくら公園」の維持管理について

- (1) 芝・花木・事務棟の維持管理はどのように行われるのか。
- (2) 遊具や健康器具の安全点検はどのように行われるのか。
- (3) 遊具周辺の芝が剥げてしまっている部分がある。その手入れはどのように行われるのか。

## 12 堀 巖 議員

### 1 コロナ対策について問う

- (1) ワクチン接種をする（した）人に対する特典の付与の施策について、市はどのように考えるか。
  - ① 何らかの理由でワクチンを接種できない人も少なからず見える。不公平ではないか。
  - ② ワクチン接種は任意であり、特典の付与に限らず、接種した人としていない人との差別をしてはならないと考えるが、今後、市の施策の中でそのようなことがないように願うがどうか。
- (2) コロナウィルスに対する誤解からの意味のない対策をやめるべきではないか。
  - ① 学校給食において、余った食材のお代わりができなくなっている学校があると聞くが、接触感染に対する誤解からの弊害の一例ではないか。
  - ② トイレ清掃についても委託してきたが、接触感染に対する誤解からの事業ではないか。

- ③ 換気のよい屋外や街中や車の運転中、多くの人がマスクをつけているが、コロナ対策としてはほぼ無意味であり、逆に健康上よくないことを周知するべきではないか。

## 2 続・川井野寄地区企業誘致における産業廃棄物処理問題について問う

- (1) 9月議会の総務・産業建設常任委員会、財務常任委員会連合審査会における質疑から疑問点について問う
  - ① 「追認の議案というものが否決となった場合においては、まず今年の2月に締結しました3者の合意書が無効になるということが考えられます」と答弁しているが、議会に諮る前（議決を経ていない状態）に有効であると答えているものが、なぜ議会に諮った後に否決されると無効になるのかについて説明を求める。
  - ② 「追認の議案というものが否決となった場合においては、旧土地所有者の方から御負担いただいた土地売買代金、土地売買代金の1割相当分でございますが、そちらを返金させていただいて、本来の求償権に基づきまして、撤去費用の全額というものを旧所有者のほうに求めていくということになります」と答弁しているが、那須顧問弁護士に相談した際の示唆である「全額を求償することは権利の濫用」と矛盾するのではないか。
  - ③ 「そういうこと（無効になること）で元に戻り、土地の返還で訴訟に発展する可能性がある」と答弁しているが、3者合意とともに愛知県と旧所有者との売買契約及び確約書も無効になるという意味なのか。また、訴訟というのは、旧土地所有者が誰を相手取り、どのような訴訟の可能性を想定していたのか。売買契約書の当事者である愛知県がそのような可能性を示唆していたのか。
  - ④ 旧土地所有者から訴訟を提起された際に「分譲ができない、造成工事を中止せざるを得ない可能性が出てくる」と答弁している。監査を不服として訴訟が提起されているが、そのような影響は出ているのか。
  - ⑤ 文書主義を基本とする行政にあって、「今回は私どもが頭を下げて土地を買わせていただいているという」ことで、文書ではなく口頭でお願いし、決着を見た」と答弁しているが、これが公平・公正な行政運営といえるのか。
  - ⑥ 愛知県から開発決定前に産業廃棄物の有無について確認するようさんざん言われていたと答弁している。その際、しなかった理由についても答弁しているが、全部はやり切れない、他にも埋まっているかもしれないなど、説明になっていない。田として耕作している土地ではない、すでに違法転用されている土地を調査しなかった理由を再度求める。
- (2) 奈良市の新斎苑建設に係る裁判結果（市長の裁量権の逸脱・権利の濫用による1億6千万円の損害賠償を求められた）と岩倉市の今回の事例の類似点及び相違点について考える

## 13 大野 慎治 議員

### 1 野焼きについて問う

- (1) 現状について問う。



- (2) 苦情件数は。
- (3) 消防出動件数は。
- (4) 具体的な対策はあるのか。

2 田畑に隣接した市道の管理について問う

- (1) 現状について問う。
- (2) 市道を損傷、または汚損されたときの対応は。
- (3) 損害賠償を求めることができるように、条例または規則を制定する必要があるのではないか。

3 大矢公園調整池設置工事に伴う大矢公園の閉鎖について問う

- (1) 大矢公園はいつから閉鎖となるのか。
- (2) 公園閉鎖の周知はどのように行うのか。

4 石仏公園の整備計画について問う

- (1) 現状における整備計画は。
- (2) 遊具の設置が必要ではないか。

5 市長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例の制定について問う

- (1) 地方自治法改正の概要・背景について問う。
- (2) 愛知県内の条例の制定状況は。
- (3) 本市においても、市長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例の制定が必要ではないか。